

平成27年度 第14回

日南市教育委員会

会議録

平成28年2月17日(水) 午後3時から
南郷町総合支所 2階第1会議室

1 会議の名称 平成 27 年度教育委員会 第 14 回会議（定例）

2 会議日時 平成 28 年 2 月 17 日(水)
午後 3 時 00 分から午後 4 時 30 分まで

3 出欠確認

（１）出席委員 迫元茂保 八木真紀子 郷谷純一
黒木康英 崎村洋子

（２）事務局 学校教育課長 倉元保久
学校教育課学校教育担当監 沼田重明
学校教育課長補佐兼管理係長 和田考巨
生涯学習課長 岡本武憲
学校教育課管理係主査 瀬田順司

4 場所 南郷町総合支所 2 階第 1 会議室

5 傍聴者 0 名

6 開会

【迫元委員長】

「皆さん、こんにちは。

最近、寒い日が続いていまして、インフルエンザ等のニュースも見ます。

流行しているところもありますので、体調管理には、十分気をつけておすごしく
ださい。

それでは、平成 27 年度第 14 回教育委員会定例会を開会いたします。」

7 出席者及び傍聴者確認

【迫元委員長】

「出席者及び傍聴者確認についてです。本日は、委員 5 名、全員出席です。（傍聴
者 0 名）」

【倉元課長】

「本日は、事務局全員出席です。」

8 活動報告

(1) 教育委員長活動報告【迫元委員長】

- ① 1月20日、新春子どもの声を聴く会があり、出席いたしました
市内の各小中学校から各1名、合計26名の児童生徒がそれぞれのテーマに沿って、力強く発表をしてくれました。
子どもたちの心の成長に感動いたしました。
- ② 1月22日、榎原小中学校の児童生徒の皆さんとのふれあいコミュニケーションに参加しました。
これは、委員の皆様にも全員参加をしていただきました。
今回は、テーマを「榎原大好き」と「私もひとこと」として開催いたしました。
子どもたちの声を聞きながら、子どもたちが地域の人に支えられていることや地域に対する愛着をもっていることを強く感じました。また、他校との交流を求めていることもわかりました。
教育委員会としては、この声を大切に、今後に生かしていかなければと感じました。
- ③ 1月23日、日南市PTA研究大会があり、参加いたしました。
アトラクションでは、北郷中学校吹奏楽部による演奏と細田小学校全校児童による演技がありました。
両校とも大変素晴らしい発表で会場から大きな拍手をいただきました。
事例発表があり、今回は、平成26年度優良PTA文部科学大臣表彰を受賞されました飢肥小学校が担当になりまして、「学校へ行こう、輪（和）を作ろう・手をつなごう」という題目で、取り組みの発表をされました。
特に、地域と連携した取り組み等が印象にのこりました。
その後、講演があり、県立看護大学教授の長鶴美佐子先生の「思春期の子どもを見守るために大切なこと」という演題で、先生の貴重な実践をもとにした身近に役立つお話をしていただきました。
いろいろなデータを示していただいて、わかりやすくお話をしていただきました。
- ④ 2月6日、日南市地域福祉推進大会があり、出席いたしました
内容としては、社会福祉功労者としての市長表彰、社会福祉協議会会長表彰、特別功労団体表彰などがありました。
その後、2つの事例発表がありました。
ひとつは、乱杭野サロンの発表でした。
ここでは、手作りの道具を使っての楽しい活動の様子が伝わってきました。
事例発表2では、吉野方小学校の跡地を利用して、ふれあいの居場所づくりをさ

れている「杉の子会」の発表でした。

学校や地域をうまく活用して居場所づくりをされているお話でした。

最後にアトラクションとして、日南太鼓衆「爽空」の皆さんのとっても迫力あるしかも引き締まった演奏があり、大変感動いたしました。

- ⑤ 同日、日南市学校給食展があり、午後から参観しました。

テーマが「給食で伝える和食の良さ」ということで、様々なプログラムが用意され、沢山の方々が見えてにぎわっていました。

食育が叫ばれている現代ですので、このような大会は貴重だなと感じました。

- ⑥ 2月7日、第63回剣法発祥鶴戸山顕彰剣道大会があり、出席いたしました。

今年は3年ぶりに晴天に恵まれ、鶴戸神宮で実施されました。

県内各地から、選手、監督等を含めて、約900名の参加があり、大変盛会に行われました。

以上、活動報告を終わります。

(2) 教育長活動報告【黒木教育長】

- ① 1月26日、学校政策課の方が来られました。

内容は、学校事務関係です。

現在、日南市には、6地区の共同実施があります。

それが、来年度から、5地区の共同実施になります。

それをまとめる6級事務主幹が日南市に配置されます。

県下で3地区が指定されます。

6級事務主幹は、5地区の共同実施をまとめ、市教委と県教委をつなぐ仕事をしていただく形になると思います。

- ② 1月27日、榎原神社で行われた文化財消火訓練に参加しました。

榎原小学校の子ども達も参加しました。

- ③ 1月28日、小中一貫校連絡会議があり、出席しました。

全学校の説明を聞きましたが、全体的に淘汰されたように感じました。

今後、特色を出すためにどういったことを取り組むかが大切なことだと思いました。

- ④ 1月29日、宮崎大学の地域資源創成学部長の吉田教授との意見交換会を行いました。

私の方で日南市のキャリア教育の取組について、説明をさせていただきました。

日南市教育委員会の取組は、これから学部をスタートさせるにあたり参考になるとのとでした。

- ⑤ 2月2日、飢肥杉積み木プロジェクト会議があり、出席しました。
新年度の活動例集を作成しております。
- ⑥ 2月4日、佐土原で県教育研究所発表会があり、出席しました。
日南市のキャリア教育の1年間の研究について、発表をしました。
素晴らしい研究発表でした。
2月25日に日南市教育研究所の発表会がありますので、委員の皆様の都合が
つけば、是非、聞いていただきたいと思います。
- ⑦ 2月6日、映画「みんなの学校」試写会に出席しました。
これは、特別支援の関わり方や考え方、学校の実践を映画化しています。
すごく参考になりました。
- ⑧ 2月8日、県教育委員会との意見交換会があり、出席しました。
意見交換会というよりは、県教委の新年度の施策について、説明がありました。
- ⑨ 2月12日、あがた幼稚園の伊豆元園長の声かけで、飢肥杉積み木の説明を行いました。
日南市、串間市の幼稚園の園長先生、先生方約50名が参加されていました。
- ⑩ 2月16日、文化財審議会があり、出席しました。
国名勝指定と狐塚古墳の埋め戻しについて、諮問し、提案どおり承認されました。

以上、活動報告を終わります。

9 前回の議事録承認

作成中のため次回の定例会議で承認

10 議題について

協議1 本年度の反省と次年度の計画について

(委員長)	本年度の反省と次年度の計画について説明。
(委員長)	平成27年度を振りかえって、何か反省や感想があれば意見をだしてください。
(郷谷委員)	私は、昨年5月から教育委員になりましたので、はじめて経験することばかりでした。 1年間で教育現場の先生方がされる内容がおおまかにつかめました。 非常に勉強になった時間でした。

(教育長)	私の反省事項ですが、連絡を受けたり、文書をもらったりするのですが、出席の報告をするのを忘れてしまったので、次からは気をつけます。 教育委員会定例会義や行事等などを参加させていただいて、本市の教育もよく頑張っていると思いました。 振徳教育の日や学校支援地域本部事業など地域ぐるみで積極的に取り組んでいるなどと思いました。 この間、県教委との意見交換会でも出されましたが、学校訪問の在り方について、マンネリ化をして県教委も危惧されています。 学校の活性化、教職員の指導力向上を高めるための学校訪問になっていないのではないかと話されました。 そこで、県教委としては、今後の学校訪問について、内容を充実させたいという意向であることを確認できました。 私も以前から学校訪問については、形をつくりすぎている感じがしており、そういったものを変えていく必要があると考えていました。 教育委員の学校訪問の関わり方についても今後、検討する必要があると思っています。 学校訪問を学校の改善にどう生かすか、県の施策と併せて今後検討が必要です。
(崎村委員)	学校に行く機会が増えて、子ども達に会うことが多くなり、普段、道で見かけたらあいさつをしてくれるようになりました。 見守りができるようになったことと子ども達に顔を覚えてもらったことが良かったです。 あと、処平塾等良い事業がいっぱいあるので、周知徹底してもらえばと思います。 榎原小・榎原中学校とのふれあいコミュニケーションをした時に他校との交流をしたいという意見もあったので、小規模校に特にこのことを周知してください。
(八木委員)	学校等を訪問させていただいて、見ないとわからないことがあるし、教育委員として必要なのは、今の日南市の教育の現状をしっかり見届けることだと思っています。 誰かから訪ねられた時にちゃんと答えないといけないなと思っています。 今年度の実績を見て、通学路の危険箇所の点検等、続けていくべきものがいっぱいあるなどと思いました。
(委員長)	計画をたてるときに、私のほうでも、今までにやっていないような

	ことを幅広く、いろいろな現状を知ることを念頭に計画をたてました。 施設整備の現状や他の市町村の教育委員との意見交換会も新たに計画に入れました。 ただいま、皆さんからでた意見を参考にして、次年度の計画をたてていきたいと思います。 皆さんの意見を聞く中で、教育長からでました、学校訪問の活かし方や関わり方、八木委員からもでましたが、実際に訪問して、これをどう活かしていくかを詰めていく必要があると思います。 そのようなことこそ、教育委員の役割だと思います。 次年度あたりは、そういうこともテーマにあげながら、していけないといけないと思いました。 私が計画をたてるときに毎年繰り返しやった方がいいものの他に、他課に属する児童クラブの参観等も新たに入れました。 教育に関わるものは、連携が必要な部分がたくさんあるので、そういったことが計画できたのは、良かったと思いました。 それから、崎村委員から処平塾等の参加をもっと周知してくださいとありました。 例えば、子どもの声を聴く会で子ども達がものすごく良いことをいますが、会場に来ていただいている方は案内をされている方が多く、一般の人が少ない状況です。 そのような教育委員会の行事への他の皆さんの関わり方、理解をしてもらうための案内等、考えていかなければならないと思います。 他に御意見は、ありませんか。
(教育長)	県には、読書県日本一を目指す施策があります。 日南市は、独自で子どものための図書館の環境整備や読書量を増やす取組、また一般の方々が読書に親しむ機会を増やす取組など、市立図書館が積極的に取り組んでいます。
(八木委員)	県の取組と市の取組が連動している部分もあり今後は、県の施策と市の施策がその目的を一つにして、図書館が円滑に運営されるよう、関係者間の連携を含めて研修会が必要なのかなと思います。 実は、この度、県の読書推進委員になりました。 おととい会議で、街の中で読書を増やす活動等おもしろい意見ができました。 その時に日南市が県下トップをきってやりたいなと思いました。 そのためには、いろいろ仕組みを勉強しないといけないと思いました。

(委員長) (郷谷委員) (教育長)	街の中どこでも本が読める活動の研究をしたりするとおもしろいと思います。 その他、何かありませんか。 小中学校の読書の貸し出しの状況はどうですか。 データを見ると、学校図書館の貸出率は、減少していますが、旅する読書の挑戦者数は、かなり増えています。 市立図書館や太陽号の本で借りている子ども達が増えた反面、学校で本を借りる子ども達が減ったことがとデータを見てわかりました。 そういったところに具体的な対策を打たなければいけないと思いました。 この課題を解決すれば、まだまだ読書量は伸びると思います。 そのために学校の図書館の新書等、もっと子ども達にアピールすることが必要だと感じました。 来年度は、ビブリオバトルを中学校にひろめたり、これまで小学校だけ旅する読書を行っていましたが、中学校にまで広げようと思っています。 全体的に子ども達の読書環境を整えられる体制を作るために、市立図書館と学校、市立図書館の司書と学校図書司書が連携することをもっと強めたいと思っています。 また、今年も戸村さんに寄附をいただきましたので、図書整備率の低い学校に手厚く予算を措置したいと思っています。
(崎村委員) (岡本課長)	大人の読書環境はどうですか。 図書館の貸出数等を増やすため、市内4館にそれぞれ特色を持った本棚を作って、例えば、南郷なら海や漁業関係の本など、そのようなことで、市民が図書館に少しでも足を運んでいただければと思います。 子どもに力をいれているのは、子どもの時に本を読む機会があれば、大人になっても本を読む可能性が高いので力をいれています。
(八木委員)	図書館の本来の機能だけではなく、人が集える空間としての機能も今後の課題かなと思っています。
(岡本課長)	人と本が知り合うだけではなく、人と人が交流できる場になればそれが理想だとは思っています。 スペースの問題や人員の問題で難しいので、できることからキッチリやっていきたいと思っています。
(委員長)	このような内容の研修もいれたいと思います。 図書館まつり等との関連も考えて、時期を決めたいと思います。 それから、来年度の早い時期に県の施策と市の施策のつながりの研

	修を行いたいと思っています。
	あと、出かける教育委員会というのがありますが、まだ行ってないもの、あるいは、前に行っていてしばらくいていないもの等、実態が知りたいものは何かありますか。
(八木委員)	市内の高校を視察したいです。
(教育長)	私は、幼稚園とか放課後児童クラブの研修がいいと思います。
	放課後児童クラブは、学校で行っているし、幼稚園であれば、小学校と繋ぎがあるので、研修したほうがいいと思います。
(八木委員)	幼稚園の先生とのふれあいコミュニケーションもいいですね。
(委員長)	以前、幼稚園を参観しましたが、幼稚園とのつながりは、よく言われるので、またいれてもいいと思います。
(教育長)	幼稚園の先生方と子ども教育のあり方について、情報交換することは、必要だと思います。
(委員長)	それと、学校支援地域本部事業は、実際に活動している時間帯に見てみたいです。
(崎村委員)	どのようにコーディネータの方が関わっているか見て見たいです。
(委員長)	参観する前後にコーディネータの方とのふれあいコミュニケーションができればと思っています。
	あと、毎年4月に行う通学路危険箇所点検は、実態把握のため、継続して取り組みたいと思います。
	今まで出た意見を参考に事務局と相談しながら、計画を立てたいと思います。
	3月の定例教育委員会でお示ししたいと思います。
	この件については、終わります。

協議 2 学校活性化について

(倉元課長)	日南市の学校活性化について説明。
(教育長)	日南市の学校活性化へ思いについて説明。
(委員長)	今、教育長、課長から説明がありました。
	基本的に適正化基準によって対応していきます。
	今後、基準に合致する地域から声があがった時に教育委員会からの説明をする必要があるのかなと思いました。
	その時に教育委員会の思いや情報提供をしていかないといけないと思いました。

	そして、地域の方や保護者に一番良い方法を考えていただくことになると思います。 いずれにしも、近い将来、考えていかないといけない問題だと思います。
(教育長)	委員長が今、おっしゃったように教育委員会は、思いを皆さんに伝えるしかありません。 決定するのは、地域の方です。
(郷谷委員)	そういふことの協議会は、地域の方でされるのですか。
(教育長)	市教委には、平成25年1月28日に、日南市学校活性化推進委員会が答申書を当時の松尾昭憲会長名で出されています。 この基準に児童・生徒数が該当した時には、各地区で活性化検討委員会を立ち上げて、検討に入ります。 結論については、地域の皆さんが決めていただくということになります。
(委員長)	あくまでも各地区の検討委員会の結論を持って、教育委員会は、手続きに入ります。 この件については、終わります。

協議3 ふれあいコミュニケーションについて

(瀬田主査)	ふれあいコミュニケーションのアンケートの結果等について説明。
(委員長)	ありがとうございました。 説明された資料は、子ども達とのコミュニケーションの中でだされた意見の主なものを書いていただいています。 だいたいこのような状況だったと思いますが、まだ、他にこういう意見もありましたというのがあれば紹介してください。 (意見なし)
(委員長)	このように、教育委員会としては、ふれあいコミュニケーションをした後にまとめて、みんなで確認したことを学校に返したほうがいいと思っています。 いかがでしょうか。 (賛成)
(委員長)	学校のほうにお返ししたいと思います。
(委員長)	子ども達のアンケートの集計結果を見られて、感想や今後、活かしていったほうがいいなと思われるようなことはありませんか。

(委員長)	意見の中で他校との交流がしたいとでていますので、校長会等で市内の学校間の交流が活発に行われるように働きかけていただきたいと思います。
(教育長)	はい。 先ほど、崎村委員がおっしゃったように、処平塾、南浦塾などももっと周知していきたいと思います。
(委員長)	それと、榎原小の子ども達が、話しを聞く態度がもっと良い日南市になって欲しいという希望がありました。 このことも是非、校長会等で機会を見て、話していただければと思います。
(委員長)	ふれあいコミュニケーション全体でなにかありませんか。
(崎村委員)	前もって、子ども達に準備資料を配付していたので、淀みなく子ども達の質問がありました。 下準備が良かったと思います。
(委員長)	今年度は、小規模校の児童生徒と行いました。 来年度、大人の方は、前回、教育長が学校支援地域本部事業のコーディネータの方で行いたいという意見がありました。 こども達の方は、どうでしょうか。 今まででいくと、小学校、中学校、一貫校、小規模校と行いました。
(八木委員)	まだ、行っていない地区とか。
(委員長)	地区は、日南、北郷、南郷と大きなきくくりでは、全部まわりました。
(委員長)	もっとせまい中学校区単位では、飫肥地区、油津地区、細田地区も行っていない。 今まで行っていない学校区の中から考えてみたいと思います。 この件については、終わります。

協議 4 予算（平成 28 年度当初・3 月補正）について

(倉元課長)	学校教育課関係所管分について説明。
(岡本課長)	生涯学習課関係所管分について説明。
(委員長)	ただいま、説明がありました。 何か御意見、御質問はありませんか。 (意見なし)
(委員長)	このことが、議会に上程されますので、御了解いただきたいと思います。

	ます。 この件については、終わります。
--	-----------------------------------

協議 5 規則改正について

(岡本課長)	日南市社会教育指導員に関する規則の一部を改正する規則について説明。
(委員長)	ただいま、説明がありました。 何か御意見、御質問はありませんか。 (意見なし)
(委員長)	意見がありませんので、了承ということで、この件については、終わります。

協議 6 (追加) 条例等の改正について

(和田補佐)	学校給食共同調理場設置条例の一部を改正する条例、日南市学校給食共同調理場設置条例施行規則の一部を改正する規則、日南市教育委員会公印規則の一部を改正する規則について説明。
(委員長)	ただいま、説明がありました。 何か御意見、御質問はありませんか。 (意見なし)
(委員長)	意見がありませんので、了承ということで、この件については、終わります。

1.1 その他

(1) 3月行事予定について

(2) 第16回 教育委員会会議(定例)

- ① 日時 平成28年3月23日(水)、午後3時から
- ② 場所 日南市役所・本館2階会議室

1.2 閉会